

2年目を迎えたコロナ時代におけるZOOMによる遠隔授業のあり方 —1年生必修キャリアプラン入門を事例として—

矢部拓也・松本卓也

徳島大学大学院社会産業理工学研究部・徳島大学人と地域共創センター

1. はじめに

本報告は、昨年度報告した「コロナ時代におけるZOOMによる遠隔授業のあり方—1年生必修キャリアプラン入門を事例として—」の続編である。

総合科学部1年生約180名必修のキャリアプラン入門は、昨年度よりZOOMによる遠隔授業を実施することとなった。それまで遠隔授業の経験のなかった著者は、遠隔授業になるのを機に、単にこれまでの授業をZOOMによって行うのではなく、コロナ時代に対応した遠隔授業へと内容も含めた改善を行った。

そもそもキャリアプラン入門は、改組によって新しくできた科目であり、私が徳島大学の赴任時には存在していなかった。そもそも本授業は当時の学部長（地理学）や評議員（歴史学）などを務めている教員としてのキャリアの長い教授が複数で担当しており、彼らが学生達のキャリア形成においてその生き方などが参考になると思われる、（高齢の）社会的に地位をなした方々をゲストスピーカーとして登壇してもらい、その話を聞き、レポートを書いてゆき、最後に自身のキャリア形成についてのレポートをまとめるというスタイルであった。ゲストスピーカーの方々の経歴は素晴らしいものの、実際の授業では話を聞きながら寝る学生が続出し、それをチェックするために、座席は学籍番号順の固定で大教室で行い、教員が寝ている学生を起こしつつ、チェックして減点するというものであった。彼ら授業立ち上げメンバーの退職に伴い、なぜか、私が2019年度からこの授業を全面的に引き継ぐこととなった。当時の学部長（政治学）および現在も担当をしている柴田先生（憲法学）も担当となった。元評議員の方が退職する1年前から、なぜか引き継ぎという名の下、私はこの授業の担当に任命されていたことから、この授業に一番長く携わっていたこと、私の専門は地域社会学であり、まちづくりの

実践的研究をしていることもあり、県内の方とのネットワークがあることから、一部、ゲストスピーカーを入れ替えたが、大方の授業スタイルは踏襲しており、「キャリアプラン入門」といいながら、必修として1年生に行う授業として、現代社会を生き抜くために必要な授業というよりは、単なる19世紀型の隠れたカリキュラムではないかという疑問を持ちつつ授業を行っていた。

「コロナ」という、これまで当たり前であった大教室での対面授業ができない状況に至り、2020年度の授業では、コロナ時代のキャリアプラン入門として、ZOOMによる遠隔のコミュニケーションスキルを前提とした授業に挑戦した。ただし、この時点では、こういった遠隔でのコミュニケーションが1年間だけの一時的な対処できなモノなのか、今後も続く＝パラダイムシフトであるのかは判断がつかず、試行的に実施した。

2021年度になり、コロナは終わらなかった。そこで、これは一時的なモノではなく、例えば、就職活動において、特に地方の場合は、ZOOMなどによる遠隔面接が通常になるという前提に立ち、授業をさらに「コロナ時代におけるZOOMによる遠隔授業」に重心を置いた授業へと変化させることにした。特に、遠隔でのワークショップなどが当たり前になることを想定して、新たに授業には徳島大学人と地域共創センターの特任助教の松本卓也氏に参加してもらった。松本助教は、総合科学部の佐原准教授のサポートの元、センターのフューチャーセンターにおいて、会場参加者と遠隔参加者を含めてシンポジウムなどを実施する、ハイブリッド型遠隔配信システムの立ち上げを行っている。また、フューチャーセンターを用いて、2020年、2021年度、徳島大学総合科学部ではオンラインオープンキャンパスをライブ中継しており、会場より教員と在校生が出演し、各家庭や学校などから高校生が参加するというハイブリッド型の

遠隔オープンキャンパスを実施している。当日の内容は以下の web をご参照ください。当日の様子が動画で見えます。

<https://www.opc.ias.tokushima-u.ac.jp/>

2. 昨年度 (2020 年) の実施内容

2020 年度は私が遠隔授業が初めてということもあり、最初はイノベのメンバーに実施をお願いして ZOOM のやり方を学びながら始めた (イノベメンバーは毎年部員募集を本授業でやってもらっている関係)。また、ゲストスピーカーは、1 年生のキャリアモデルとなるべく徳島大学総合科学部 OB, OG で揃えるというビジョンを掲げた。また、時代の変化が激しいので、できれば 20 代の先輩をスピーカーとする方向で授業を改革してみた。

- ①4月15日(水) ガイダンス manaba のみ
- ②4月22日(水) イノベで Zoom ZOOM の制限があり 100 名しか入れず
- ③4月29日(祝・水) ZOOM に再チャレンジ
- ④5月13日(水) 遠隔時代のキャリア形成の基礎 ZOOM を使った鉄板の自己紹介をつくる ブレイクアウトルームで、5 人の少人数で、鉄板の自己紹介を作るのと、質問力を鍛える
- ⑤5月20日(水) 適性検査・問題解決力測定 GPS-Academic (ベネッセテスト・オンデマンド)
- ⑥5月27日(水) 畠先生プログラム (オンデマンド) 「求められる社会人基礎力」
- ⑦6月03日(水) 就職セミナー リクナビ、マイナビ (教員が話さず、専門家に任せる)
- ⑧⑨6月10/17日(水) ベネッセ振り返り ZOOM 人数制限から 2 組 (半分は manaba で課題)
- ⑩6月24日(水) 総合系学部卒業のキャリアを活かすには (内海先生の授業・そのまま)
- ⑪7月01日(水) 中小企業家同友会 (1 回にまとめて 3 人のスピーカー登壇)
- ⑫7月08日(水) マスコミ (20 代日経新聞記者 OB・徳島新聞記者 OB, NHK ディレクター)
- ⑬7月15日(水) 大学院で学ぶこと (教員による新大学院の説明・そのまま)
- ⑭7月22日(水) 公務員の仕事① (20 代県庁職員 OG&OB, 県庁職員の管理職)
- ⑮7月29日(水) 公務員の仕事② (20 代吉野川市役所 OG&OB, 管理職)

3. 本年度 (2021 年) の実施内容

2021 年度の改善点は、総合科学部が国際化を掲げているので、徳島県中小企業家同友会同友会と連携してのゲストスピーカーはグローバル事業を手がけている方をお願いする。可能であれば海外から ZOOM で授業をする。スピーカーは、なるべく 20 代, 30 代の総合科学部 OB, OG お願いすることで、直近のキャリアモデルを創る。

- ①ガイダンス
 - ②イノベーションプラザの紹介 (総合科学部 2 年生&他学部の先輩) →イノベの学生が ZOOM により 1 コマやりきる
 - ③就職セミナー マイナビ・リクナビの担当者プレゼンとキャリアセンター宮本さん
 - ④ベネッセの適性検査
 - ⑤講義「求められる社会人基礎力」(畠先生)
 - ⑥就職セミナーその 2 キャリア支援センター紹介。就職コーディネーター高橋さん (阿波銀出身者 NY 支店勤務経験あり英語スピーチ) など
 - ⑦コロナ時代の大学の遠隔授業の歩き方と COC+ (人と地域共創センター・松本特任助教)
 - ⑧ベネッセの適性検査振り返り
 - ⑨総合科学部系のキャリアを活かすには (内海先生・総合科学部 OG)
 - ⑩中小企業家同友会 Day_シケン_海外授業展開と DX への取り組み
 - ⑪マスコミ (徳島新聞藤畠記者・総合科学部 OB, NHK 徳島放送局ディレクター)
 - ⑫大学院で学ぶこと (総合科学部からの内部進学者 2 名のプレゼン)
 - ⑬公務員の仕事 (徳島県庁職員・総合科学部 OB, OG)
 - ⑭コロナ禍での大学生活とは? (総合科学部 2 年生発表・珈琲スタンド出店)
 - ⑮オンラインツールに慣れる (松本助教)
- 実際の授業内容は以下の再生リストで限定公開しています。ご興味のある方は視聴の上、当日のプレゼンを聞いていただけるとうれしいです。
- https://youtube.com/playlist?list=PLNrLWB5_Fj5y3cet0Pw5JPc_Sb1B6VU9k